

大菩薩嶺山行報告

【山行日】平成 28 年 9 月 11 日

【参加者】CL 辻本 高地

【コース】上日川峠～唐松尾根～山頂～介山荘～石丸峠～上日川峠

【天 候】曇時々晴れ

50 周年記念山行の影響で、定例山行や平日山行、日帰りハイキングの募集などがなく、クラブツーリズムのような有料山行に参加している方と日帰り山行を楽しんだ。

千葉スタート時は雨だった。会事務所へ高地さんに泊っていただき、5 時スタートしたが、ワイパーが忙しく動く。検索した山梨方面の天気は曇り。それを頼りに、とにかく現地まで行こうと話し合う。計画では裂石登山道から大菩薩～丸川峠の周遊コースだったが、天候を考慮し上日川峠まで車で上がり、唐松尾根～山頂～上日川峠の周遊に切り替えた。しかし、あまりにも簡易なので、天候が許せば石丸峠まで行こうと考えていた。

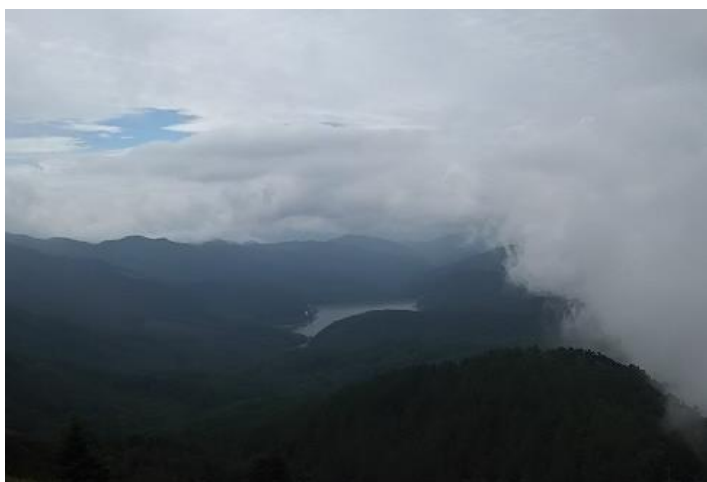
談合坂 SA を過ぎると雨が上がっている。大月 IC から甲州街道を走り、甲斐大和駅前のコンビニで食料調達をする。上日川ダム方面から上日川峠にあがり、車を停めたのは 8 時。雨は無い。

8 時 10 分に上日川峠をスタート。福ちゃん荘から唐松尾根の高度を上げて行くと、時々陽射しも刺し、眼下に大菩薩湖も見え、パノラマが広がった。スタートが早かったのかハイカーが少ない。前を歩くのが子供 3 人を連れた家族。2 時間もかからず 2 千メートルに到達できる大菩薩嶺はファミリー登山にピッタリかも知れない。

1 時間 20 分ほどで大菩薩の稜線にある雷岩に着く。さすがにハイカーの数が増え「こんにちは」の挨拶が面倒になってくる。ここから山頂までは指呼の間。登頂記念ショットを撮り、見晴らしのない山頂を後にする。介山荘への稜線歩きは富士山や南アルプスの眺望がきかないものの、近隣の山々が雲と遊んでいた。大菩薩湖を中心に上昇気流があり、西側からの雲は押し戻され、東からの雲は低く下りては巻き上げられる。この地域だけが雨から逃れられたようだ。

介山荘で行動食を摂り、石丸峠へ向かう。軽い 100m ほどの登りを終えると、笹原が広がり気分も高揚。登山道を外れ笹原を歩いてみる。時間が許せば小金沢連嶺への縦走を試みたくなってきた。石丸峠から上日川峠へ下山。下山路は眺望、沢の渡渉や原生林、めったに人と会わないなど快適そのもの。やや足が疲れたころ上日川峠に着いた。

千葉の雨から想像もできない、拾い物の天候を楽しめたひと日であった。



眼下の大菩薩湖



雷岩にて



大菩薩嶺山頂



大菩薩峠への稜線



大菩薩峠



石丸峠付近の笹原



奥秩父の趣